



ホウレンソウのトンネル栽培 冬の寒さで美味しさアップ

ホウレンソウの生育

適温は、15〜20度で冷涼な気候を好みます。耐寒性は強いですが暑さには弱く、25度以上になると生育が衰えます。冬取りは栄養価が高く、甘味も増し最もおいしいです。11月上旬頃までに種まきをしてトンネル栽培で栽培できます。



多い「冬ごのみ」(タキイ種苗)、寒締め栽培向きには葉に縮みのある「雪美菜02」(雪印種苗)などがあります。

【畑の準備】

ホウレンソウは酸性土を嫌うため、事前に1平方m当たり苦土石灰150gを畑全体に散布して、よく耕しておきます。次に1平方m当たり化成肥料(NPK各成分10%) 200gと堆肥2kgを土とよく混和しておきます(図1)。

【種まき】

幅70〜80cm、高さ5〜10cmの栽培床を作り、平らになります。畑が乾燥

図1 畑の準備

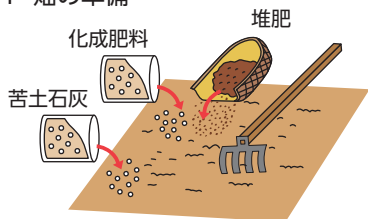


図2 種まき

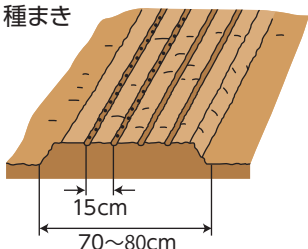


図3 トンネルの被覆

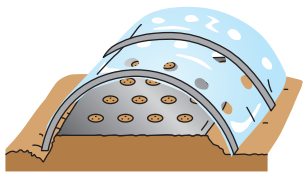
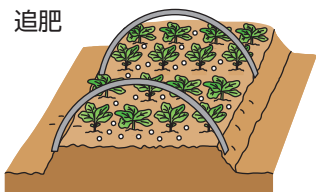


図4 追肥



しているときは、かんすい 灌水して土壤水分が適度な状態にしておきます。マルチ栽培では15cm間隔の黒色穴開きシートを使います。

条間15cm、深さ2cm程度のまき溝を切り、1cm間隔に種まきします(図2)。1cmくらい覆土をし、たっぷり灌水します。

【トンネルの被覆】

トンネル資材は有孔フィルムを使用すれば日中は高温にならず、徒長を防げます(図3)。

【間引きと追肥】

1回目は発芽がそろったときに込み合っている所を抜き取り、その後、2〜3回に分けて間引き、1本立ちにします。マルチなしの栽培では最終的に株間を5〜6cmにします。また、草丈10〜15cmの頃、1平方m当たり化成肥料30gを追肥し、株元に軽く土寄せします(図4)。

【収穫】

草丈25cmくらいが収穫の目安ですが、30cm程になってもおいしさは変わりません。株元の根を鎌やはさみで切り取り、枯れ葉を除いて200gくらいに束ねます。なお、寒締め栽培は収穫2〜3週間前にトンネルを開放し、寒さにさらします。葉が厚くなり、放射状に広がったら収穫します。